

えきまえ発展会だより

専門家のアドバイスを聞く！

準備会を開催

みんなお悩み

岡崎えきまえ発展会は、再出発しましたが、今後の方向性については議論していませんでした。そこで、専門のアドバイザーに聞くための準備会として、去る6月24日に座談会を開催しました。講師は、各地で商店街の再生などに取り組んでいるアドバイザーの西脇正倫さんです。

はじめに、講師から「皆さんの現在の商業環境は、いかがですか？特に商売上のお悩みは？」という質問がありました。出席者の業種・業態は様々ですが、率直に現在の商売の様子をお話ししました。現在の社会情勢から来る色々な問題が実に多いことが、よく分かりました。



商店街のいまは？

問題が多いことが分かった所で、講師のお話をお聞きしました。講師は、個々の問

題は地域で解決を」という趣旨で以下のお話をされました。

商業組合や発展会などは、協同して経済や環境の改善を図る組織で、個人の売上げに寄与することも重要であるが、何より「公共の福祉」を目的にするものということです。組合（発展会）は独立した事業主・店主の集合であることは確かだから、協力は簡単ではないと。しかし、商店街とそれを構成する商業者は、お客さんとその地域のニーズを同じくします。共通の利害はあるはずで、その役割が求められるといわれます。

さてここで、商店街はなぜ衰退したかを示されました。それは、理由は色々あるがそもそも「商店街」というものが歴史的に出来たもの、つまりある時代に特に必要とされたもので、現在はその時期でないのではないかとされました。一時、商店は「ヤル気だ」とか「競争に打ち勝て」とかいわれたが、それは商業者に酷な言い方ではないかともいわれました。



どの方向かな？

では、希望がないかといえばそんなことはないのであって、商店に「立地」と「業態」の変化を求めなければいけないといいます。その中で商業が成立し、商店街が地域にとっての新しい役割を果たせるのではないかと。それで、今後の展望としては高齢化への対応とか安心安全に寄与する商店街が望まれるといわれます。そんな点をテーマにした集客イベントが必要とされているし、その傾向の催しはけっこう成功する。それをきっかけに固定客を増やして個々の営業を助けていく手段になるのではないかと。

それでは、岡崎駅前を上観点で見るといかがか。市の計画では、岡崎駅前を交通を中心とする市街地を形成し、都心として商業機能を集積する地域とされています。そこでは周辺住宅地との機能分化が求められる、よって商業地としての必要性が高まることは間違いのないといわれます。実際に、南学区の人口と世帯は着実に増えており、JRの乗降客も大きな数を示していますとされました。



こうした、商業環境で顧客層の見極めと地域のニーズをきちんとつかみとっていけば、新しい顧客や新しい商店街が可能ではないかといわれました。とはいえ、常日頃に行なう基本的な商業者の交流は最低必要で、その中で地域の発展の可能性が生まれるのではないかと結ばれました。

アナタはどう思う？

講師のお話は、うなづく点多々ありました。ひとつが、商店街は歴史的なものだという視点で、よく言われる「時代の流れで致し方ない」というのもある意味正解であることを認められていることです。そこに個々の努力だけでは改善に無理があるということも確か。だからこそ立地と環境を変える必要があるとされます。

しかし、岡崎駅前の商業環境の見方のお話には、同意しがたい面があります。現在の商業環境は不景気ということを除いても、地域分業的な区分けなど意味がないような時代になっています。岡崎市の計画はあくまで計画で、まったく現実ではありません。

組合(発展会)の公共的役割は、確かに必要で目的としては同意できました。そして、商店街の理解もおおむねそのとおりでしたが、岡崎駅前の可能性については、筆者は同意できない点が多くありました。ここまで、お読みくださったアナタはどう思われるでしょうか？

(文責：奥田)

商店街のこれからを考える座談会 第1回目を開催しました

去る平成21年9月18日、市区画整理課現場事務所において、「商店街のこれからを考える座談会」を開催しました。

この座談会は、愛知県商店街振興組合連合会の「商店街・まちづくりゼミナール推進事業」で、アドバイザーを派遣していただいています。

講師の先生は、各地の商店街で指導実績のある西脇正倫氏(西脇プランニングオフィス)です。

講師の説明の一部をご紹介します。

- ・商店街活動をしなくても商売がうまくいけばそれでいいと、つい考えてしまうが、商店街は地域の生活基盤であり、地域の重要な役割がある
- ・組織化された商店街には、補助や融資などの制度が用意されている
- ・岡崎駅東は、これからつくられていく街なので、発展していく可能性がある

～テーマは「あきないの街づくり」～

講師から提案されたテーマは、「あきないの街づくり」です。この街で暮らし発展していくために、同じ目的を持った仲間をつくり、共に行動を起こしていくことは、大きなチカラを生み出します。

今後、検討する内容は以下のとおり。

- ・自分の生きざまを考える
- ・他人の生きざまを知り語り合い、共有する
- ・「目的を共有して行動する特定の人々」である“仲間”を増やす
- ・共有する目的を明確にする
- ・目的を達成するための行動を考える
- ・行動を計画にする

年末までの全5回の座談会で、これらのことを話し合っていきます。地域のために、発展会の将来のために、また、皆様の発展のために、会員の皆様の参加をお待ちしています。次回開催日は、決まり次第ご連絡いたします。

まちづくり講演会開催

10月6日(火)午後6時30分からシビックセンター3階体育集会室において、まちづくり講演会が開催されます。

主催は、今年設立された出合いの駅おがき推進協議会、南部ダリア会、岡崎市で、演題は「地域住民・団体参加によるまちづくり」です。

講師は、滋賀県立大学環境科学部准教授の鵜飼修氏。大学での研究テーマは「コミュニティによる地域再生・地域創造」、専門分野は、環境共生型まちづくり、地域活性化、コミュニティビジネスです。

できるかぎり都合をつけて参加してください

い。予約等は必要ありませんので、当日、会場へ直接お越しください。



昨年度の講師は、JR東海の川瀬氏

ファーマーズマーケット開催

10月4日(日)の午前9時からシビックセンター交流広場において、第6回岡崎ファーマーズマーケットが開催されます。岡崎商工会議所が主催し「地産地消によるまちづくり」をテーマとしています。発展会では、エコバック作りなど、来場された皆様楽しんでいただけるような参加型のブースを予定しています。午後1時くらいまで開催していますので、今回は出店しない方もぜひご来場ください。

なお、買い物袋は必ず持参してください。



平成21年3月8日開催のようす

平成2年度商店街活動研修

(株)全国商店街支援センターの主催により、「りぶら」において計3日間の日程で開催されます。

商店街活動をしていくために必要な知識や考え方が無料で学べます。全国50箇所のうち、愛知県では岡崎のみで開催され、大変有意義な研修だといわれています。平日の昼間という時間帯ではありますが、ぜひ参加してください。

参加希望の場合は、会長(新美)まで至急ご連絡ください。

日程:10/9(金),10/27(火),11/17(火)

いずれも午後1時~5時

場所:市図書館交流プラザ「りぶら」

定員:30名

FMおかざきに出た~!

右から、岩瀬食品・神尾印房・志賀為・フジケン・南天荘・ファッション絵里加・新美時計店・FMおかざきレポーターの永井さん

